

## 大型エンジン「E13C」搭載車両のリコールを届出 産業用エンジン 3 機種についても建機メーカー様よりリコール届出

エンジン認証不正問題によりお客様をはじめとするすべてのステークホルダーの信頼を裏切り、多大なご迷惑をおかけしておりますことを改めて深くお詫びいたします。

日野自動車株式会社(以下 日野)は、エンジン認証申請における不正行為およびエンジン性能上の問題を確認した大型エンジン「E13C」搭載の大型トラック「日野プロフィア」、大型観光バス「日野セレガ」の一部車型について、本日、国土交通省へ以下の通りリコール届出を実施いたしました。

本リコールでは、経年変化により排出ガス中の窒素酸化物の排出量が規制値を超過する可能性があるため、排出ガス後処理装置の窒素酸化物浄化触媒の浄化率を定期的に点検します。排出量が一定の基準を超える場合には、触媒を交換する暫定措置を行います。お客様に問題なく車両をお使いいただくため、恒久対策までの間、定期的に点検整備を実施させていただくことになり、お客様に大変なご不便をおかけすること、大変申し訳なく存じます。当該車両をお使いのお客様へは、販売会社から速やかにご連絡を差し上げる予定です。

なお、同エンジン搭載のいすゞ自動車株式会社製の大型観光バス「ガーラ」についても、本日、同社よりリコール届出を実施いただきました。当該車両をご使用のお客様をはじめ、多くの関係者の皆様にご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。リコールの詳細につきましては、下記のウェブサイトにてご確認ください。

- ・ [いすゞ自動車株式会社 リコール情報ページ](#)

また、同様に、エンジン認証申請における不正行為およびエンジン性能上の問題を確認した産業用エンジン 3 機種(E13C-YS、E13C-YM、P11C-VN)についても、建機メーカー様にご協力をいただき、当該エンジンを搭載する建機のリコール届出を完了いただきました。建機メーカー様や対象の建機をご使用のお客様をはじめ、多くの関係者の皆様にご迷惑をおかけしており、深くお詫び申し上げます。

### 【建機メーカー様リコール情報ページ】

- ・ [コベルコ建機株式会社](#)
- ・ [株式会社加藤製作所](#)

リコール作業の実施にあたりましては、日野販売会社、および建機メーカー様へ日野から約 40 名の人員を派遣、対応体制を拡充し、触媒浄化率の点検や触媒交換作業等の支援を行い、少しでもリコールの推進に繋がるよう努めてまいります。

お客様をはじめとするステークホルダーの皆様には、多大なるご迷惑をおかけしておりますことを改めて深くお詫び申し上げます。

## 1. E13C 搭載車両リコール内容

### 【原因】

DPR(排出ガス浄化装置)再生用制御プログラムが適切でないために、高回転高負荷条件での DPR 再生中に窒素酸化物浄化触媒(尿素 SCR 触媒)が高温になり劣化が早くなることがあります。そのため、経年に伴い尿素 SCR 触媒の性能が低下し、排出ガス中の窒素酸化物の排出値が規制値を超えるおそれがあります。

※DPR 再生: DPR に堆積した PM(スス)を燃やして目詰まりをなくす処置

### 【修理内容】

全車両、暫定措置として、尿素 SCR 触媒の浄化率の点検を行います。排出ガス中の窒素酸化物の排出値が一定の基準を超える場合には尿素 SCR 触媒を交換します。また、メンテナンスノートの点検整備項目に SCR 触媒の浄化率点検(無償)を追加し、定期的を実施します。恒久対策が決定次第、改めて措置を実施します。

### 【対象台数】

21,100 台

内訳 : 大型トラック「日野プロフィア」(生産期間 : 2017 年 5 月～2022 年 3 月) 20,202 台

大型観光バス「日野セレガ」(生産期間 : 2017 年 7 月～2022 年 3 月) 898 台

※ リコール届出内容の詳細は[こちら](#)

## 2. リコールに関するお問合せ先

日野自動車株式会社 お客様相談窓口 : フリーダイヤル 0120-10-6558

受付時間 : 月～金 9:00～12:00、13:00～17:00 ※祝祭日および弊社の休日を除く

なお、2022 年 9 月 10 日(土)は稼働しております

### <ご参考> 関連公表

2022 年 3 月 4 日 「[エンジン認証に関する当社の不正行為について](#)」

2022 年 3 月 11 日 「[特別調査委員会の設置について](#)」

- 2022年3月25日 「[国土交通省への陳述書提出および小型エンジン「N04C\(尿素 SCR\)」の不正行為について](#)」
- 2022年3月25日 「[中型エンジン「A05C\(HC-SCR\)」搭載車両のリコールについて](#)」
- 2022年3月29日 「[営業費用・特別損失の計上見込み及び業績予想の修正に関するお知らせ](#)」
- 2022年8月2日 「[特別調査委員会による調査結果および今後の対応について](#)」
- 2022年8月22日 「[エンジン認証に関する追加の判明事項について](#)」
- 2022年8月24日 「[CJPTからの除名について](#)」
- 2022年8月30日 「[ステークホルダーの信頼を裏切った事実を背負いあらゆる取り組みを全力で推進する「信頼回復プロジェクト」発足](#)」
- 2022年8月30日 「[「パワハラゼロ活動」を立ち上げ](#)」
- 2022年9月2日 「[開発・法規認証・品質保証のプロセス改革について](#)」

以上